

【副理事長所信】

依田 基義

近年は世界情勢の影響で物価高に歯止めがかからず、ニュースで値上げというワードをよく聞きます。もちろん活動圏域の地場産業にも影響があり、受注量減という話もよく聞きます。私たちを取り巻く環境が日々変化し、不安を抱えている、そんな時だからこそ私たちは走り続けることを止めるわけにはいかない。たとえ叶わない夢だったとしても、先頭に立って走り続けることが地域の発展とさらなる活性化への一歩となり、改めて幸せを感じることができるのではないのでしょうか。

長野県は自然豊かな地域であり、私たちの活動圏域にもたくさんの魅力溢れる地域資源が数多くあります。しかし、この地域資源を具体的に問われると十分な認識がないことにも気付かされます。「地域の魅力とは何か。」改めて考えてみると、今日まで行われてきた多くの事業から認識された魅力、生活の一部として当たり前で気付きにくい魅力など多岐にわたります。私たち自身が、地域の魅力について改めて再考し、価値創造を通じてイノベーションを起こし、携わる人と訪れる人との協働で地域活性化につながる事業を「発信」してまいります。

今年で第55回目を迎える上田わっしょい。近年、参加者の数は徐々に増えてきており、昨年は多くの子供たちの参加が印象的で賑やかな声が飛び交っていました。まだコロナ禍前の参加人数までには至っていませんが、もっと多くの方に足を運んで楽しんでいただくためには、古き良きものは継承しつつも時代の変化に合わせた工夫を模索する必要があります。「市民総和楽」の精神のもと、諸先輩方が築き上げてこられた伝統と熱き想いをしっかりと胸に焼き付け、今年の上田わっしょいも楽しかったと記憶してもらえるような最高の夏の思い出を創出してまいります。